

## 第3学年1組 英語学習指導案

### 1 単元名 Unit4 Be Prepared and Work Together

#### 2 単元の目標

- (1) 間接疑問文とSVOO(what 節)の文，現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。  
(知識及び技能)
- (2) 地域の一員として防災に取り組む意識を持つために，外国人支援の取り組みについて，簡単な語句や文を用いて話している。  
(思考力，判断力，表現力)
- (3) 地域の一員として防災に取り組む意識を持つために，外国人支援の取り組みについて，簡単な語句や文を用いて話そうとしている。  
(学びに向かう力，人間性等)

#### 3 単元構成の意図

生徒は明るくまじめで，意欲的に授業に取り組むが，おとなしい。ペア学習やグループ学習によるコミュニケーション活動には協力して取り組むことができる。しかし，英語を得意と思っている生徒は少ないので，話す活動を多く取り入れながら，目的や場面に合った対話を積極的にさせたい。

防災というテーマを通して，多くの災害に直面する日本に住んでいることを意識させ，自己を守り，同時に他者を守るという姿勢を養う。言語材料は間接疑問文，現在分詞，過去分詞の後置修飾を学ぶことで，表現の幅が広がり，身近な自己表現がしやすくなる。

本単元では相手の立場に立った具体的な提案を考えさせる。既習事項を用いることで，いろいろな申し出ができることを確認し，また，新たな申し出の仕方を学ぶことで，場面や状況にあったよりよい申し出になるようにしていきたい。さらに自分たちの表現と友達の表現を比較することで，より相手を意識した申し出になるためにはどうしたらよいかを考えさせ，自分たちのやり取りを修正し，進化させた申し出になるように取り組ませたい。

#### 4 単元の学習計画

時間	場面	学習活動(夢中になって学んでいる姿)	資質・能力等
1	考える	・ラジオの災害情報を聞いている。	・災害情報を表す文章を聞いて，指示されている概要や詳細な情報を聞き取ったり，捉えたりしている。 (思・判・表) (主)
2	見通す 対話する	・防災への意識を高めるために，外国人市民意識調査とその結果について書かれた文章の概要を捉えたり伝えたりしている。	・外国人市民意識調査とその結果について書かれた文章の概要を捉えたり伝えたりしている。(思・判・表) (主)
3	習得する	・間接疑問文の形・意味・用法を理解している。	・「間接疑問文の形・意味・用法」を理解している。(知・技)
4	対話する	・防災の意識を高めるために，どこにあるか，どのように行動するかなどを教えてほしいと依頼している。	・防災の意識を高めるために，どこにあるか，どのように行動するかなどを教えてほしいと依頼している。 (思・判・表) (主)
5	習得する	・SVOO(what 節)の文の形・意味・用法を理解している。	・世界の偉人について，情報をたずねたり伝え合ったりしている。(知・技)
6	考える 対話する	・防災・安全への関心を高めるために，日本で地震にあった外国人の体験談について書かれた文章の要点を捉えたり，どのような人かを説明したりしている。	・防災・安全への関心を高めるために，日本で地震にあった外国人の体験談について書かれた文章の要点を捉えている。(思・判・表) (主)
7	習得する	・現在分詞の形・意味・用法を理解している。	・「現在分詞の形・意味・用法」を理解している。(知・技)
8	考える 対話する	・地域の一員として防災に取り組む意識を持つために，外国人支援の取り組みについて書かれた文章の要点を捉えたり，説明したりしている。	・地域の一員として防災に取り組む意識を持つために，外国人支援の取り組みについて書かれた文章の要点を捉えている。(思・判・表) (主)
9	習得する	・過去分詞の形・意味・用法を理解している。	・「過去分詞の形・意味・用法」を理解している。(知・技)
10	考える 対話する	・防災への意識を高めるために，標識が何を意味しているかについて，話したり書いたりしている。	・防災への意識を高めるために，標識が何を意味しているかについて，話したり書いたりしている。(思・判・表) (主)

11 本時	考える 対話する	・困っている相手に対して、状況に合った手助けができるように、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えたりしている。	・困っている相手に対して、相手の立場に立った、具体的な提案をしたり、質問に答えたりしている。 (思・判・表) (主)
12	考える 対話する	・選挙と投票について考えを深めるために、投票率に関する資料から読み取った情報を伝え合ったり、身近な話題について公約を考えて発表したりしている。	・選挙と投票について考えを深めるために、投票率に関する資料から読み取った情報を伝え合ったり、身近な話題について公約を考えて発表したりしている。(思・判・表) (主)
13	考える	・ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を聞き取っている。	・自分の言葉で説明できるように、ニュースや国の紹介のテレビ番組を聞いて、概要や要点を捉えようとしている。(思・判・表) (主)



単元を通して育成したい生徒の姿  
防災というテーマを通して、社会の一員として何が出来るかを夢中になって思考を巡らせ他者を思いやろうとする姿

### 5 本時における英語の見方・考え方を働かせた学びの姿

- 相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりする姿

### 6 本時の研究の視点

#### 【見方・考え方を働かせながら学びを自分事として捉える指導の工夫】

- 既習事項なども使いながら、相手の立場に立った具体的な提案を考える。
- 生徒にとって身近な場面設定を行い、目的や場面、状況によって、適切な表現が選択、使用できるようにする。

#### 【学びの連続性につながる振り返り】

- 何が分かったのか、どんな場面で活用できるのか、新たに知ったこと、次にどんな学習をしたいのかなどの視点を与える。

### 7 本時のねらい

相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。(思・判・表) (主)

### 8 学習過程 (11 / 13)

段階	学習活動・内容	時間	○教師の支援 ※評価(方法) 改善策
課題 設定	1 課題を把握する。 (1) ウォームアップをする。 (2) JT の寸劇を見て、どんな場面かを推測する。 (3) STEP1 で自分ならどのような行動をするか考える。 ・荷物をもってあげる。 ・スマホアプリを見せる。 など	5	○ 本時の内容に繋がるように、町中で誰かに話しかけられた経験について質問する。 ○ JT が何をしているところか、自由に発表させる。 ○ STEP1 ではどのように対応するか隣同士で共有させる。
課題 解決	困っている相手に対して、相手の立場に立った、具体的な提案を申し出よう。  2 課題を解決する。 (1) STEP2 の対話文を聞き、やり取り内容を確認する。 ・困っていることは何か ・申し出たのは何か ・ミドリシティホテルへの行き方がわからない。 ・ホテルへ案内しましょうか。 ・Would you like me to carry your ~? ・Can I help you?	3 5	○ 生徒にとって身近な場面を取り上げ、課題設定を行う。  ★逐語訳をせずに、何を申し出たかを集中して聞き取らせ、発表させる。  ○ 聞き取りの取りのポイントを与えて、聞き取らせる。 ○ 逐語訳にならないようにしながら、適宜解説を行う。 ○ 生徒から出た申し出る言い方は、既習事項であることを確認し、STEP3 で活用できるようにする。 ○ 既習事項にも申し出る言い方があること

振り 返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>Shall I take you there?</u></li> </ul> <p>(2) STEP2 の音読をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Choral Reading</li> <li>・ Pair Reading</li> </ul> <p>(3) STEP3 をペアで対話する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Tool Box の表現を読む</li> <li>・ ①～③の場面について、ペアで対話する</li> <li>・ ①～③の対話をいくつかのペアが発表する</li> <li>・ アイコンタクト、発音、ユニークさなど</li> </ul> <p>(4) STEP3 をペアでもう一度対話する。</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 学習内容の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○相手の立場に立った申し出をするときは Would you like me to…?などを用いる。</p> </div> <p>(2) 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困っている人がいたら、相手の立場になって手助けがしたい。</li> <li>・ 友達の発表と自分たちのやり取りを比較し、どうすればより伝わりやすい表現になるか考えた。</li> </ul>	<p>を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行き先などを部分的にアレンジさせて、使い方に慣れさせる。</li> <li>○ いくつかのペアに発表させる。</li> <li>○ Tool Box の表現を使って、課題解決につながるようにさせる。</li> <li>○ 既習事項も用いながら、プロットをペアで協力して考えさせる。</li> <li>○ 助けてもらう側と申し出る側の両方を演じさせる。</li> <li>○ 発表者のよかった点を確認し、よりよい表現になるためにはどうしたらよいか考えさせる。</li> </ul> <div style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★発表者と自分たちのやり取りを比較し、どうすれば相手を意識したわかりやすい申し出になるか、もう一度取り組ませる。</p> </div> <p>10 ※ 相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができたか。(観察、発表)</p> <p>○ <b>何が分かったのか、どんな場面で活用できるのか、新たに知ったこと、次にどんな学習をしたいのかなどの視点を与える。</b></p>
----------	---	--

## 9 板書計画

P67 Let's Talk2 Thursday, October20

### 学習課題

困っている相手に対して、相手の立場に立った、具体的な提案をしよう。

<申し出る言い方>

Would you like me to carry your umbrella?

…しましょうか

(あなたの傘をお持ちしましょうか。)

Can I help you?

Shall I take you there?

### Step3 3つの場面 (3枚の絵)

タクシ  
ー乗り  
場を探  
してい  
る

券売機  
の使い  
方がわ  
からな  
い

公園で  
男の子  
が迷子  
になっ  
ている